

# 兵庫県職員ガイダンス

## 2月7日、8日 全体説明

人事委員会事務局任用課

# Contents

- 01 兵庫県庁で働く魅力
- 02 兵庫県庁はどんなことをしている
- 03 兵庫県庁での勤務
- 04 採用試験の概要
- 05 兵庫県庁を知るために

- ① スケールの大きな仕事も  
県民・地域に密着した仕事も経験可能
- ② 様々な分野の仕事を経験し  
幅広い知識が身につく
- ③ 柔軟な働き方が可能

兵庫県庁で働く魅力①

# 国・都道府県・市町村の違い

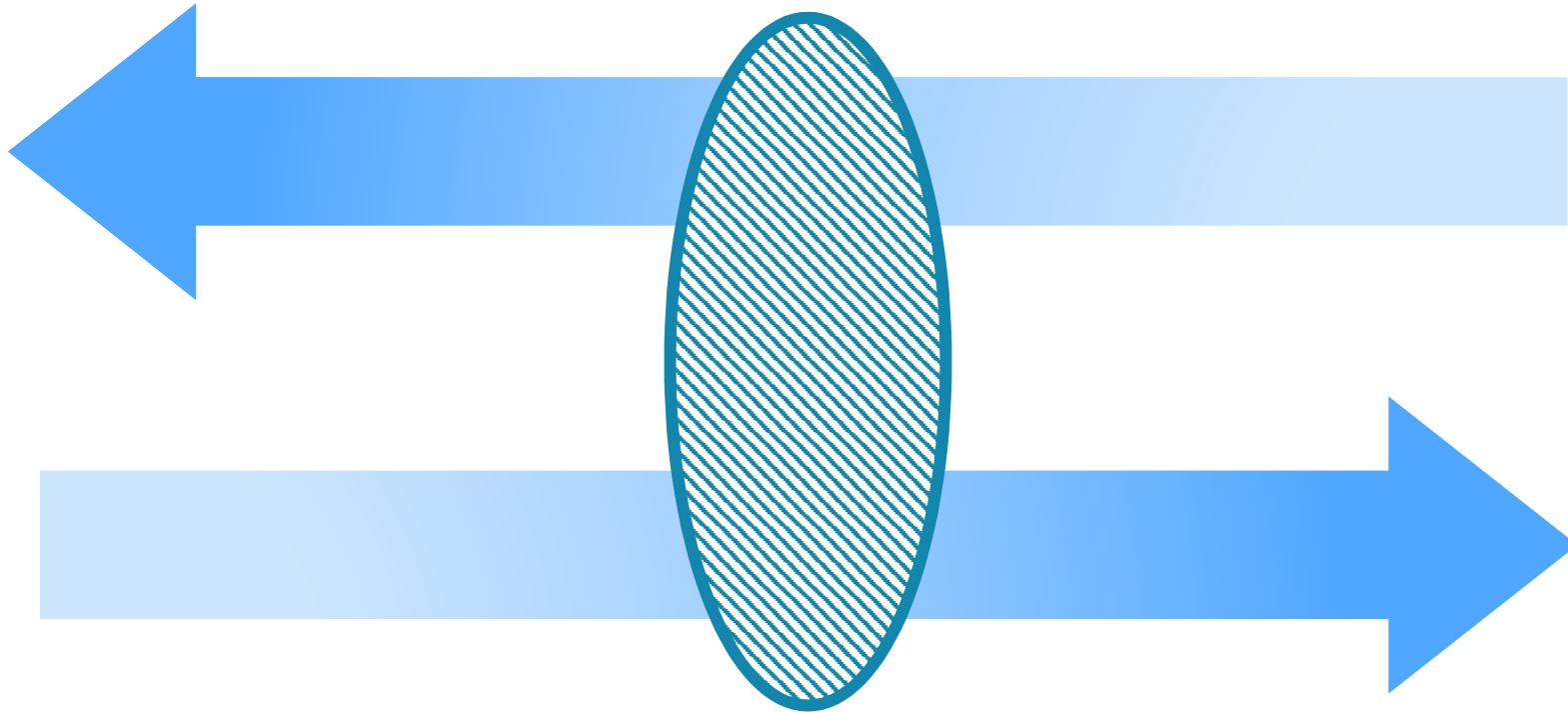
国

都道府県

市町村

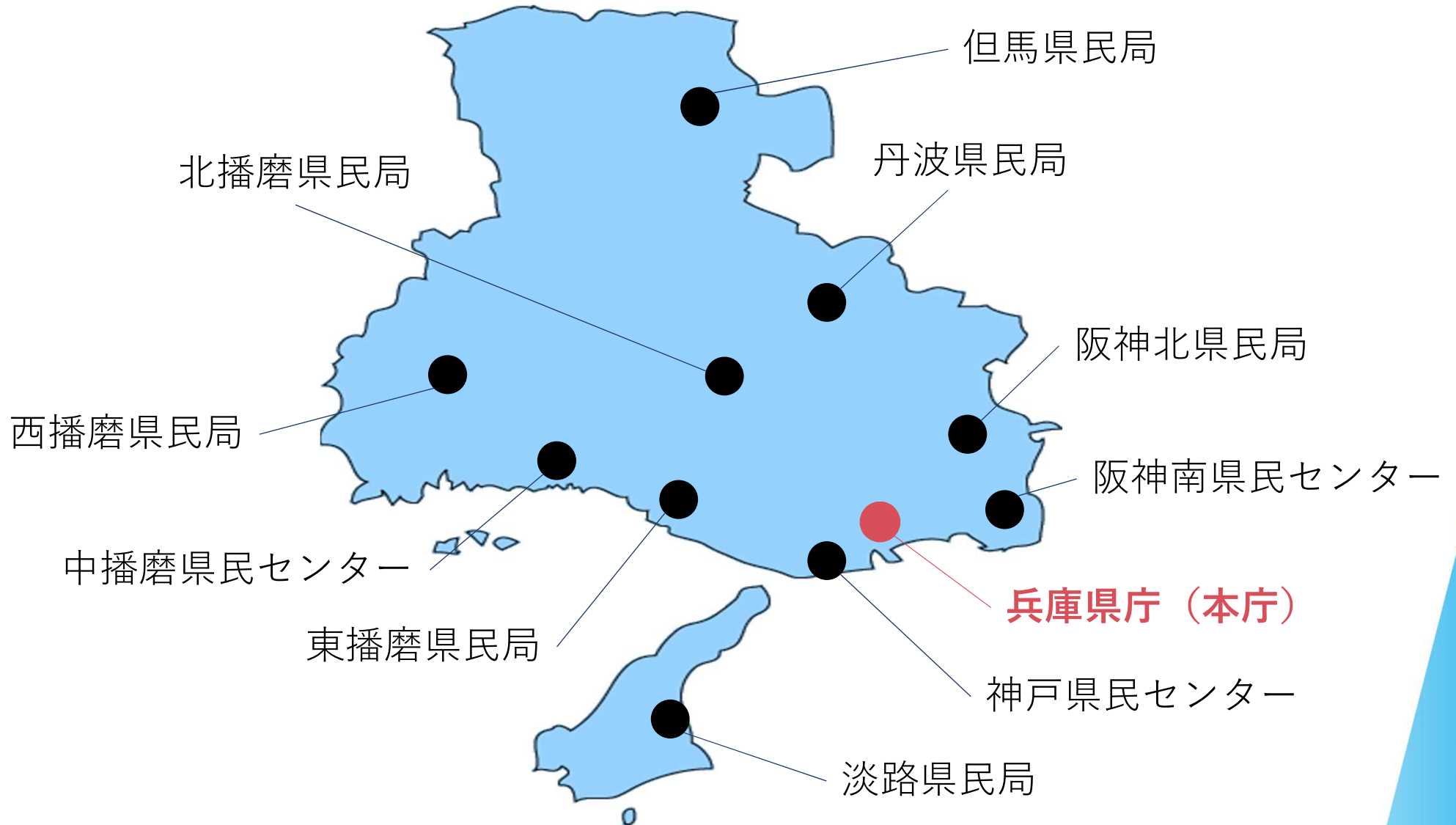
事業  
規模

地域  
密着



兵庫県庁で働く魅力①

# 勤務地



兵庫県庁で働く魅力①

## 本庁、県民局・県民センターの違い

### ● 本庁

多様で幅広い業務内容（**広域的行政**）

- 市区町村の区域を越える業務
- 国と市町との調整業務
- 都道府県全体で統一すべき業務 等

例）総合開発計画、産業立地、予算編成 等

→ スケールの大きな仕事ができる

### ● 県民局・県民センター

直接県民に対応する業務内容（**基礎的行政**）

- 県税の収税・課税業務
- 道路・河川・港湾に係る用地買収、公物管理業務
- 生活保護、介護福祉施設の監査、保健所業務

→ 県民・地域に密着した仕事ができる

兵庫県庁で働く魅力②

## 職種紹介（事務系職種）

### 総合事務職（※）

本庁・地方機関で行う地域創生、広報、防災、税務、福祉、保健、商工、労働、国際交流、農林水産、土木等の総合行政事務

### 警察事務職

警察本部・警察署で行う事務

### 教育事務職

教育委員会事務局(本庁、地方機関、教育機関)・県立学校で行う事務

### 小中学校事務職

市町立小中学校など(神戸市立を除く)で行う事務

※（旧）一般事務職＜R6年度試験から名称変更＞

兵庫県庁で働く魅力②

## 総合事務職（仕事内容）

総合事務職の場合・・・全て経験可能

スポーツ・文化

観光

地域創生

農林水産業

まちづくり

子育て支援

防災・減災対策

企業の誘致

産業



兵庫県庁で働く魅力②

## 本庁の配属先

総務部

企画部

財務部

県民生活部

危機管理部

福祉部

保健医療部

産業労働部

農林水産部

環境部

土木部

まちづくり部

その他に

出納局、企業庁、病院局、議会事務局、選挙管理委員会事務局、  
監査委員事務局、人事委員会事務局、労働委員会事務局、収用委員会事務局

兵庫県庁で働く魅力③

## 柔軟な働き方

### ● 勤務時間

- 7時間45分
- 原則として、月曜～金曜の完全週休2日制
- **4つの勤務形態から選択**し勤務可能
  - E勤) 8:15～17:00
  - A勤) 8:45～17:30
  - B勤) 9:00～17:45
  - L勤) 9:30～18:15

< R4実績 >

月平均超過勤務時間：10.2時間

### ● 休暇

- 年次有給休暇：年間20日（4月新規採用者は年間15日）
- 夏季休暇：年間5日
- 子育て支援休暇：年間5日（義務教育終了前の子が2人以上の場合10日）
- 結婚休暇：5日
- 産前・産後休暇
- 配偶者の出産補助休暇

< R4実績 >

年次有給休暇平均取得日数：10.6日

兵庫県庁で働く魅力③

## 柔軟な働き方

### ● 育児休業

子が3歳になるまで休業できます。

取得率：女性 100%

男性 61.4%（希望者の100%）

### ● 育児部分休業

子が小学校に入学するまでの間、1日につき2時間まで部分休業できます。

### ● 育児短時間勤務

子が小学校に入学するまでの間、勤務時間を短縮できます。

### ● フレックスタイム制

すべての職員が実施でき、勤務時間を柔軟に割り振りすることができます。

### ● 介護休暇

要介護者を介護するために6月以内で取得できます。

### ● 在宅勤務

すべての職員が実施できます。

<R5.4月時点>

採用者に占める女性割合：45.5%

女性管理監督職比率（本庁班長・主幹相当職以上）：22.1%

兵庫県庁で働く魅力②

# 新しい働き方モデルオフィス

生産性の向上 × 職員の働きがいの向上

2つを両立させる新しい働き方に、  
すべての職員が挑戦トライアルの場

- 大胆なテレワークの実施  
出勤率4割への挑戦<公務部門 全国初>
- オープン(間仕切りのない)オフィス採用
- フリーアドレスによる柔軟な働き方
- デュアルモニター設置等によるペーパーレス推進
- 書棚の台数縮減によるストックレス推進



兵庫県庁はどんなことをしている

# 令和6年度予算編成

## [県政改革方針の基本方針]

- ① 躍動する兵庫の実現
  - オープンな県政の推進
  - 「誰も取り残さない」県政の推進
  - 県民ボトムアップ型県政の推進
- ② 持続可能な行財政基盤の確立
- ③ イノベーション型行財政運営の実現
  - 「ビルド」を重視した行財政運営
  - 成果を重視した施策立案手法の導入
  - 透明性向上のための外部評価の積極的活用

## 重点施策

### 若者・Z世代 応援パッケージ

- 県立大学の無償化事業
- 奨学金返済事業の拡充
- 不妊治療支援の充実
- 子育て世代が住みやすい住宅政策プロジェクト

### 大阪・関西万博開催 に向けた取組

- テーマウィークの設定による魅力発信
- 「子どもの夢」プロジェクト
- フィールドパビリオンの展開

### 兵庫サステナブル事業

- カーボンニュートラルシティの実現
- 中小企業を中心とした県内企業の脱炭素化支援

## 兵庫県庁での勤務 勤務条件

### ● 初任給（大学新卒者）

221,000円程度

（給料＋地域手当、神戸市内勤務の場合）

- 経歴に応じて加算
- 地域手当は勤務地によって異なる（4.4～9.4％）
- 昇給は年1回

### ● 手当

- 扶養手当
- 住居手当
- 通勤手当
- 超過勤務手当
- 期末・勤勉手当（R5実績：4.50か月分）  
など

### ● キャリア



※職名はR6.4～予定

## 兵庫県庁での勤務 研修制度

### ● 新任職員研修

県職員としての意識・心構えの確立を図るとともに、新任職員として必要な基礎的知識の習得や職務遂行能力の向上を図る。

### ● 階層別研修

若手、中堅など経験年数等に応じ必要な能力の向上を図る。

### ● OJT指導

新規採用職員一人一人にマン・ツー・マン指導員がつき、業務に必要な知識や技法を丁寧に指導。

### ● キャリアチャレンジプログラム

庁内公募で選考された職員が、希望する役職や所属に異動することでスキルアップやキャリア形成の実現に役立てる。

〔海外・国内大学院、国の各省・他県、民間企業等への派遣〕

### ● マルチワークプログラム

短期間の庁内インターンにより希望部署の業務経験からキャリア形成に役立てる。

### ● 特別研修

政策形成、行政法・民法、リスクマネジメントなど、職員が高めたい知識・スキルに応じた研修を選択できる。



兵庫県庁での勤務

## 異動（総合事務職の場合）

- 幅広い業務に対応できる人材の育成
- 行政的な視点と県民感覚を有するバランスのよい人材の育成

職員の希望、能力、適性等を踏まえて 適材適所に配置

1～2年目

3～5年目

6～8年目

9～11年目

本庁

地方

本庁

地方

地方

本庁

地方

本庁

## 本庁・事業課や地方・事務所等に配置

県の仕事の流れをまずは経験  
県民の行政ニーズを肌で感じる

## 本庁・地方の中核に配置

内部管理等、県の仕事を違う視点から経験  
中核職員としての職責を果たす


 スペシャリスト育成プログラム

税務、デジタル等、特定分野に軸足を置いたキャリア形成



兵庫県庁での勤務

## 勤務地への配慮

- 居住地から**90分以内の通勤**が原則。
- 結婚や子供など親族の状況を確認し、**家庭事情等に配慮**。
- **年1回**、希望する勤務地や職務を**申告する機会**あり。
- 転居を伴う異動については、
  - ①独身：一度は土地勘のない地域に配属されることが多い。
  - ②管理職：家庭事情を考慮しつつ、地方機関への配属になることも。
- 異動により転居の場合、距離に応じて**赴任旅費**を支給。
- **職員公舎、住居手当**（家賃の概ね半額、上限28,000円）あり。

**異動の度に引っ越ししている訳ではない**

最初の配属先は、採用試験最終合格後に面談を実施。

面談で聴取した希望の仕事内容や勤務地を考慮して配属先が決定。

## 採用試験の概要

# 一般事務職から総合事務職に名称変更

政策の企画・立案から実行までを総合的に担う職であることを明確にした名称へ変更

区分	令和5年度
事務系職種	<u>一般事務職</u>
	警察事務職
	教育事務職
	小中学校事務職



令和6年度
<u>総合事務職</u>
警察事務職
教育事務職
小中学校事務職

## 採用試験の概要

## 事務系職種(大卒程度)採用試験【早期SPI枠】の新設

- 民間企業併願者など幅広く受験可能な**SPI3**を導入（特別な公務員試験対策は不要）
- 通常の日程に先行した試験を実施（民間企業就職活動と並行、通常試験と併願可能）

## ■試験概要（予定）

区分	早期 SPI 枠（新設）		通常試験（現行）	
募集職種	総合事務職		総合事務職、警察事務職、 教育事務職、小中学事務職	
筆記試験	4月 中～下旬  来県不要	・基礎能力検査・性格検査（SPI3） [テストセンター方式] ・アピールシート [オンライン提出]	6月 中旬	・教養試験 ・専門試験 ・論文試験
面接試験	5月 中～下旬	・個別面接 ・適正検査	7月 月上旬  8月 月上旬	[1次面接] ・個別面接 ・適正検査  [最終面接] ・個別面接
最終合格	6月上旬		8月中旬	

※各試験の採用予定人数、試験日程等の詳細は試験案内で公表予定（ポータルサイト掲載等）

- ・早期 SPI 枠：令和6年3月中旬公表予定
- ・通常試験：令和6年4月下旬公表予定

併願可能

## 採用試験の概要

# 事務系職種（大卒程度）

## ● 募集予定職種

早期SPI枠（先行）・・・総合事務職のみ

通常試験（現行）・・・総合事務職、警察事務職、教育事務職、小中学校事務職

## ● 最終合格者人数（R5年度実績）

一般事務職：110名、警察事務職：8名、教育事務職：36名、小中学校事務：11名

## ● 受験資格

年齢・・・・・・・・2025年4月1日現在における年齢が22～27歳の人

国籍要件・・・・・・・・総合事務職、警察事務職、教育事務職は、日本国籍を有する人のみ

欠格事項・・・・・・・・地方公務員法第16条の各号に該当する等の場合は受験できません

資格要件・・・・・・・・不要

## 採用試験の概要

## 試験内容（通常試験：R5年度実績）

## 筆記試験

- **教養試験**：大卒程度の一般教養＜択一式＞  
（出題範囲）県関係、日本史、化学、数的推理など
- **専門試験**：大卒程度の専門知識＜択一式＞  
（出題範囲）行政法、経済史、社会福祉、デジタル関係など
- **論文試験**：各職種共通で出題1題、800字

## 1次面接試験

- **個別面接**：20～25分程度／若手職員が試験員
- **適性検査**：職務の遂行に必要な適正について検査 [対策不要]

## 成績リセット

## 最終面接試験

- **個別面接**：25～30分程度／幹部職員が試験員

出題範囲の詳細は、[R5年度の試験案内](#)を参考にしてください。

## 採用試験の概要

## 試験日程（R5年度実績）

区分	事務系職種	技術系職種	資格免許職
受付期間	4月24日～5月26日	3月13日～4月7日	4月24日～5月26日
筆記試験	6月18日	4月23日	6月18日
筆記合格発表	6月28日	5月12日	7月5日
1次面接試験	7月3日～7月14日	—	—
1次合格発表	7月26日	—	—
最終面接試験	8月1日～8月10日	5月22日～6月2日	7月10日～7月14日
最終合格発表	8月18日	6月16日	7月26日

## 採用試験の概要

# 兵庫県の求める職員像

## ① 県民本位

誠実に県民の信頼に応える姿勢

## ② ダイバーシティ & インクルージョン

県民や職員の多様な声を大切にし、活発な議論を重ねる姿勢

## ③ リ・チャレンジ

失敗しても諦めない姿勢、前例に捉われず、柔軟な発想で挑戦する姿勢

## ④ ネットワーク

職員間のチームワークはもちろんのこと、庁外にもネットワークを広げ、多様な主体と連携・協力する姿勢

## ⑤ 成長

常に努力を続けて変化に対応する姿勢、また自身の成長と同様に、部下や後輩職員の成長にも力を注ぐ姿勢

上記以外にも、みなさんの強みを面接でアピールしてください



兵庫県庁を知るために

## 採用サポーター制度

- 県庁のリアルな姿や雰囲気を知ってもらうため、県庁の業務に興味のある高校生・大学生等に対し、**若手職員と1対1で直接対話し、県庁を体感**できる制度
- **通年実施**（採用試験受験申込者は一次面接から最終面接の期間除く）

### 【募集職種】

総合事務職、保健師、薬剤師、栄養士、農学職、林学職、水産職、環境科学職、総合土木職、建築職、機械職、電気職、獣医師

希望職種・分野・日時等  
を申し込み



採用サポーター（若手職員）  
との面談・職場見学  
<リアルな情報・体感を提供>

### 採用サポーター制度 申込方法

[「職員採用ポータルサイト」](#) > [「説明会」](#) > [「採用サポーター制度」](#)





Hyogo  
Prefecture

